

“公立保育所を民間産科クリニックへ”
和歌山県有田市の実例



積水ハウス 地方創生戦略部 吉崎・佐藤



リノベーション 外来棟：旧市立保育所園舎



新築 入院・分娩棟新築：旧市立保育所園庭



外来棟待合い受付



分娩室



入院・分娩棟エントランス



施主名：医療法人社団マザー・キー（産婦人科）
敷地面積：1,074.81㎡
延床面積：【分娩・入院新築棟】：595.32㎡／
【外来リノベーション棟】：240.60㎡
階数構造：【分娩・入院新築棟】2階建て・軽量鉄骨造／
【外来リノベーション棟】平屋・鉄筋コンクリート造
建築地：和歌山県有田市

- ・ 少子高齢化や人口減少の社会課題が特に地方部において顕著に。
- ・ 医師の働き方改革により、勤務医の時間外労働が制限。産科医が1人から増員ができず市民病院では分娩機能の継続が困難。これにより市内に産科がなくなる危機に。
- ・ 分娩可能な民間産科クリニックの誘致が難航していた。
- ・ 一方、保育所再構築を進める有田市では、市立糸我保育所の閉所にともない跡地・跡建物の活用も課題となっていた。



内装はフラワーボックスをイメージ



新生児室

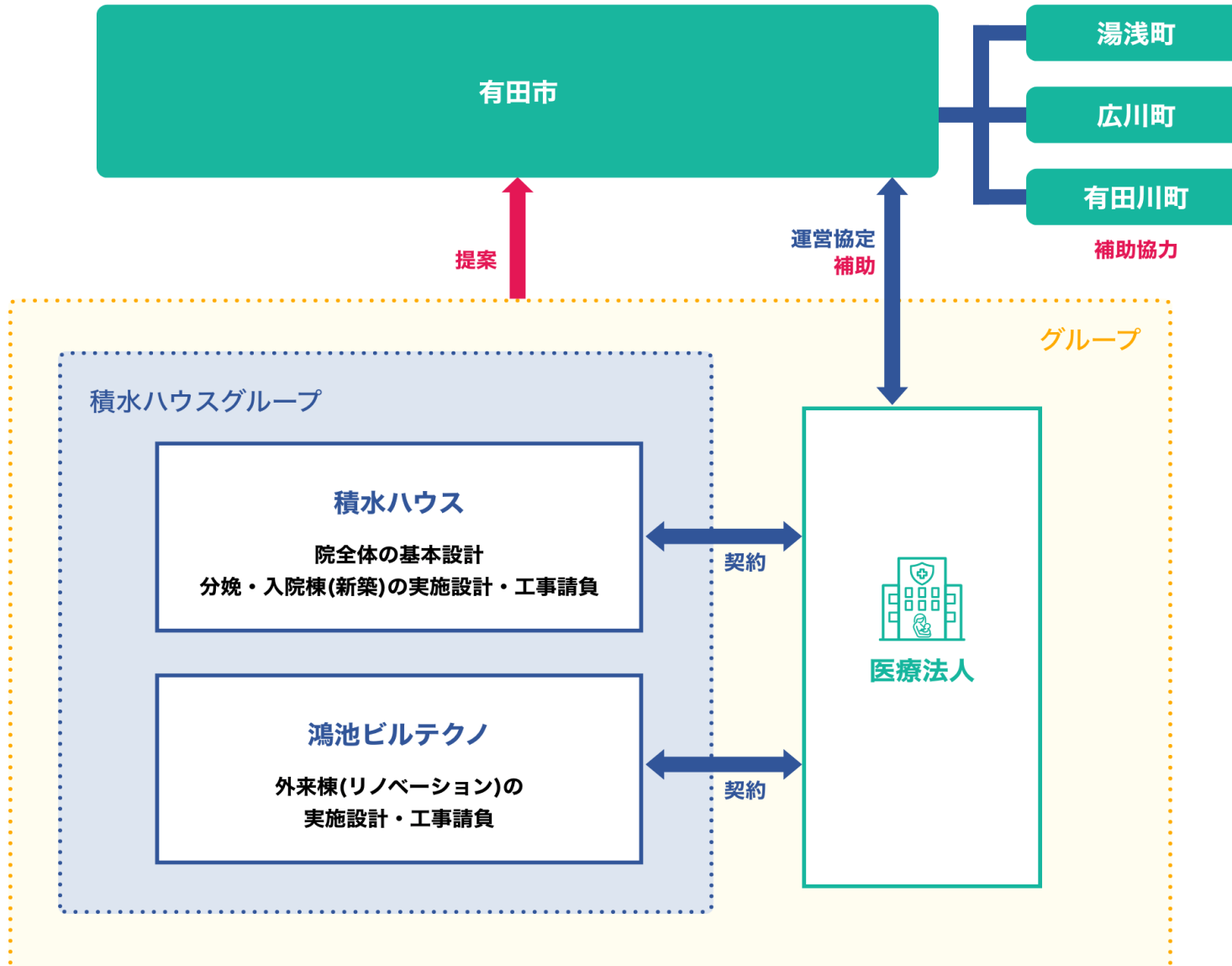
- ・ 積水ハウスのネットワークで千葉拠点の医療法人を和歌山に誘致
- ・ 旧保育所跡地に整備 外来棟は壁画を残し、積水ハウスグループの鴻池ビルテクノが全面リノベ 分娩・入院棟は積水ハウスが新築。
- ・ 安定した運営ができるように、補助金を有田市に提案
リノベーション棟では国土交通省の空き家補助金を適用した
- ・ 医師や看護師、助産師への細かいヒアリングにより、働きやすい動線やレイアウト、妊婦が安心・快適に過ごせ、家族の感動の瞬間を迎えるデザインなどを空間設計に反映



ナースステーション



診察室




- ・ 行政、医療法人、グループ会社と一体となった結束力により有田市の分娩環境を維持継続させ、地域の出生数改善への夢が持てた
- ・ 積水ハウスのコンサルティング力と行政の熱意・補助によって、民間企業のノウハウを活用した事業スキームが確立できた
- ・ 医師・看護師・助産師やスタッフが働きやすく、誇りが持てる雇用の場を創出できた

出産された方のコメント

地元有田で産めるので通院する負担が少なく、近くに病院があるだけで安心できます。スタッフの皆様も優しくしてくれるので、安心して出産することができました。とにかく健康で、優しく育ててもらえれば一番です。



新しい生命の始まりは

 大きな喜びと

そして

大きな苦勞を伴う

たとえ

乗り越えられないほどの苦勞であったとしても

あなたが選ばれた

この子に選ばれたママ

これから始まる子育てに

これから始まる新しい生活に

そして

ママになったあなたに贈る

花束を



9/11/12

quest

中山勇魚さん、間島由美さん（東京都墨田より） / greenz 柳原正太郎さん（南阿蘇より）、池田美砂子さん（茅ヶ崎より）



次世代を担う子どもたちの
育成を目的に、
子どもたちの幸せ・育成に
関わる活動を支援

積水ハウスグループの従業員から寄付金を募り、積水ハウス株式会社から同額を拠出。ESG経営のSocial活動の一環として、地域社会の課題解決を担う非営利団体などの活動を応援する目的で、これまでに約4.9億円を延べ645団体へ支援しています。

Word cloud content (from top to bottom, left to right):

- なごみ活用
- 一部職員
- 居場所
- 支援
- 受け身
- 行政
- 活動
- 指示待ち
- 子ども
- 自分
- 地方
- 有田市さん
- グループミーティング
- 世界最先端
- ワークショッブ開催
- 工夫
- 直す
- 議論
- 活用方法
- 考え方
- 子供たち
- 有効性
- 場所
- ゲスト
- 地方
- 職員
- 有田市社協
- 活動
- 子育て
- 福祉館なごみ
- やり方
- 取り組み
- 地域福祉
- 口減少
- 病院
- 地域課題
- 自力
- 子供達
- 情報交換
- 付き添い家族
- 立ち上げ
- greenz
- ニーズ
- 場所
- 都会
- 少子化
- コミュニティー
- 機会
- Uターンを選択した理由
- 状況
- 子育て世代

